

環境活動レポート

スギウラ 株式会社

《ご挨拶》

スギウラ株式会社は天保8年創業以来、紙を扱う会社として歩んでまいりました。私たちは、文化を支えてきた紙を扱うことで 地域の人々への貢献を目指して来ました。

そもそも 2000年以上にわたって人類の歴史を記録し伝えてきた「紙」は、人々にとってなくてはならない必需品ですが、昨今 製紙メーカーは環境破壊の槍玉に挙げられがちです。しかし 製紙業界は 再生紙にはもちろんですが、森林循環紙にも特に力を入れています。森林循環紙とは、植林、育木、間伐、伐採というサイクルを繰り返し、持続可能な生産を促すことにより木の乱獲を防ぐことを目的としている紙ですが、この紙は 洋紙製造時のCO₂排出量が再生紙よりも少ない紙です。

このように 紙業界が地球環境の保全へと向かっている中で、当然 これからの私たちの使命は 環境への取り組みであり、それによって環境への負荷の少ない循環を基調とする経済社会システムの実現のために尽力することと考えました。

以下、「環境活動レポート」としての取り組みをまとめましたので、私たちの取り組みをご高覧の上、ご指導、ご指摘をいただき次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

スギウラ 株式会社
取締役社長
杉浦 幸男

《目次》

1. 環境方針	P-1
2. 事業活動の規模	P-2
3. EA21推進体制	P-3
4. 環境目標とその実績	P-4
4-2. 中期目標	P-5
5. 環境活動の取組計画と評価	P-6
6. 環境関連法規制の遵守	P-7

1. 環境方針

〔基本理念〕

私たちスギウラ株式会社は、お客様第一主義を念頭に置いた事業活動を行うにあたり地球環境の保全への取組みが最重要課題であると考え、環境負荷を継続的に削減します。

〔基本方針〕

環境保全活動を推進するにあたり、以下に主な活動項目を掲げ取組みます。

1. 当社は、紙及び紙製品の卸売業をするにあたり、地球環境に与える影響を明確に把握し、環境負荷を低減するとともに、循環型社会の実現に努めます。
 - ①二酸化炭素排出量削減のため、使用化石燃料・使用電力の削減に努めます。
 - ②廃棄物の削減と再資源化に努めます。
 - ③水資源を限りあるものとして節水に努めます。
 - ④環境に配慮した商品の取り扱いを推進します。
 - ⑤グリーン購入の拡大に努めます。
2. 環境活動の継続的改善を推進するにあたり、環境目標・環境活動計画を策定し取組みます。策定した目標・活動計画は定期的にあるいは必要に応じて見直します。
3. 事業活動において、環境に関わる法律・規制その他公的基準を遵守します。
4. 環境方針は、全社員に周知するとともに、環境教育を行い社員の環境に関する意識の向上を図ります。
5. 環境管理に関する情報は、社内外に公表し、地域社会とのコミュニケーションを図ります。

～ この環境方針は、社内外に公表します ～

2012年4月30日

スギウラ 株式会社

取締役社長

杉浦 幸男

2. 事業活動の規模

1. 事業所及び代表者名

スギウラ 株式会社
取締役社長 杉浦 幸男

2. 所在地

〒370-0006 群馬県 高崎市 問屋町 二丁目 2番地8

3. 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

代表責任者 : 取締役社長 杉浦 幸男
環境管理責任者 : 商品管理部 部長 金井 純一
担当 : E A 2 1 事務局 須藤 和昌 丹治 由季
TEL : 027-361-5808 FAX : 027-361-1272

4. 事業の内容

洋紙・板紙・和紙及び紙製品の卸売業

5. 対象範囲(全組織)

本社及び倉庫・板紙倉庫

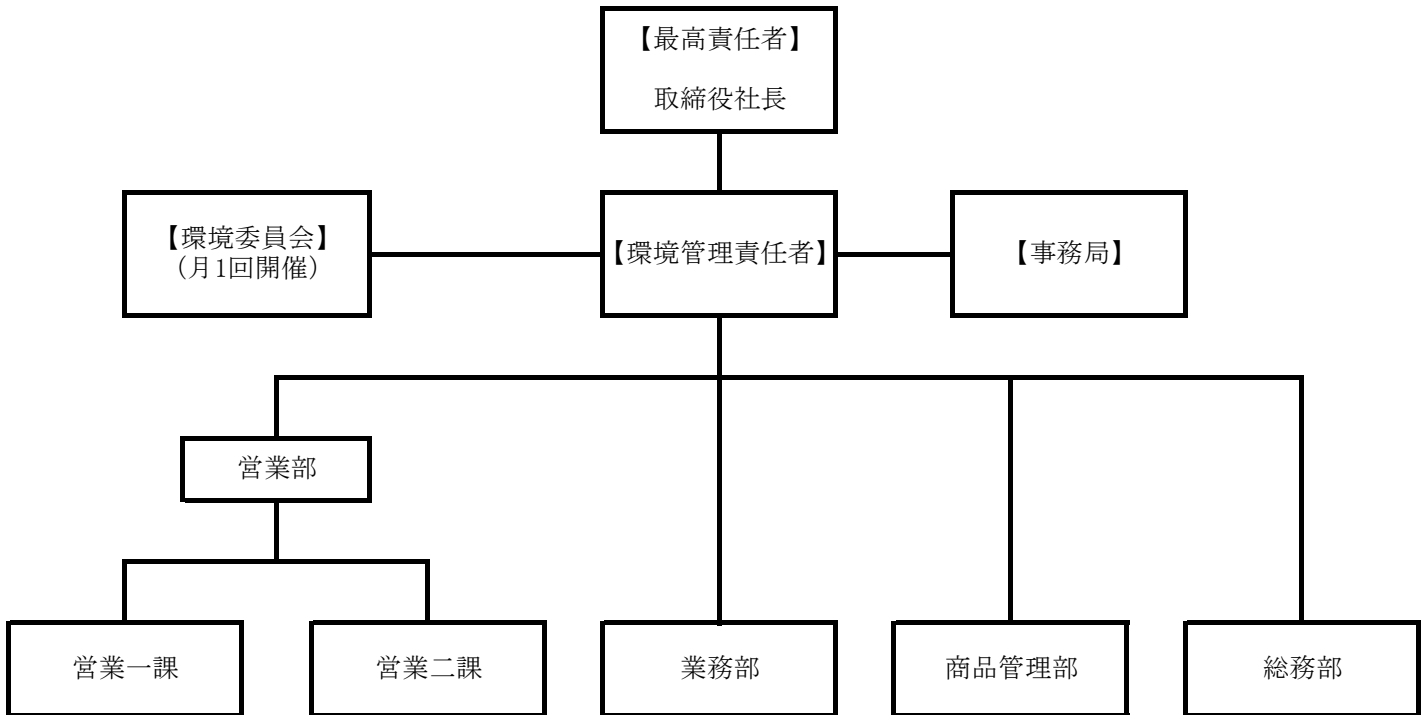
6. 事業規模

活動規模	単位	2009年度 (69期)	2010年度 (70期)	2011年度 (71期)
売上高	百万円	1,801	1,774	1,661
従業員数	人	36	35	37
延べ床面積	m ²	2,286.86	2,286.86	2,286.86

7 レポート対象期間及び発行日

対象期間:2011年5月1日から2012年4月30日まで 発行日:7月20日

3. EA21推進体制



職名	役割
最高責任者	【取締役社長】 ① 環境管理責任者をはじめ、必要な責任者を任命する。該当責任者には、現在の責務に関わりなく、兼任で責任と権限を明示する。 ② エコアクション21の構築・運用・維持に必要な経営諸資源(人材・資金・機器・設備・技術・技能を含む)を準備する。 ③ 環境方針を制定する。 ④ エコアクション21の構築・運用に関する情報を収集し、環境方針・環境目標をはじめシステム全体の見直しを行い、必要に応じ改訂を指示する。
環境管理責任者	① エコアクション21に関する経営諸資源の合理的・効果的な運用を図り、目的を達成するために環境委員会を運営する。 ② エコアクション21の構築と運用を円滑に行い、最高責任者による見直しのための情報として、構築・運用に関する情報を最高責任者に提供する。
事務局	① 事務局として、環境管理責任者を補佐し、エコアクション21に関する実務全般を所管する。
環境委員会	最高責任者・環境管理責任者・事務局・部門長及び最高責任者に任命された者で構成し、月1回環境管理責任者が召集する。環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。環境管理責任者が必要と認めた者は出席することができる。

4-1. 環境目標とその実績

当社に於ける70期(2010/5/1～2011/4/31)の環境負荷実績を把握し、71期～72期迄の目標を下記の通り定め活動を開始した。

1. 主要な環境目標と環境負荷・実績

環境目標	70期	71期		72期	環境活動計画内容
	実績	目標	実績	目標	
①走行距離1kmあたりの二酸化炭素排出量の削減	0.25kg/km	現状維持～1%削減	0.25kg/km	現状維持～1%削減	① 個人目標を立て実行 ② タイヤの空気圧チェック ③ ギアチェンジのマニュアル化 ④ 社用車の点検・整備・タイヤ交換 ⑤ 原因分析と削減方法の検討
②売上高100万円当たりの電力に関する二酸化炭素排出量の削減	18.15kg/百万円	70期実績に対し、1%削減	17.73kg/百万円	71期実績に対し、1%削減	① 空調温度適正化・表示 ② 照明・PC電源不要時のOFFの推進 ③ エアコン清掃の実施 ④ 原因分析と削減方法の検討
③売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減	1.30kg/百万円	70期実績に対し、1%削減	1.26kg/百万円	71期実績に対し、1%削減	① 5Rの実行 ② 廃棄物置場の整備 ③ 再生利用ルートの確保 ④ 原因分析と削減方法の検討
④従業員一人当たりの当たりの水資源投入量の削減(m ³)	10.69m ³ /一人	現状維持	8.60m ³ /一人	現状維持	① 毎月のメータの確認(漏水防止) ② 節水表示(手洗い場・トイレ) ③ 節水コマを付ける等による節水 ④ 原因分析と削減方法の検討
⑤環境に配慮した商品の取扱いの推進	情報収集と会議を行う	情報収集と会議を行う	情報収集と会議を行う	情報収集と会議を行う	① 環境に配慮した商品の情報を集める ② 環境に配慮した商品の知識を高めた上で営業活動を展開する
⑥グリーン購入比率の向上(%)	33.80%	70期実績に対し、1%向上	52.44%	71期実績に対し、1%向上	① 対象品目の調査 ② 購入実績の把握 ③ 購入品の価格比較 ④ 従来品との性能比較 ⑤ 購入品目の選定 ⑥ グリーン購入ルールの徹底

4-2中期環境目標

1. 主要な中期環境目標

中期環境目標	基準(70期)	3年後(73期)	環境活動計画内容
	実績	目標	
①走行距離1kmあたりの二酸化炭素排出量の削減	0.25kg/km	70期実績に対し、2%削減	① 個人目標を立て実行 ② タイヤの空気圧チェック ③ ギアチェンジのマニュアル化 ④ 社用車の点検・整備・タイヤ交換
②売上高100万円当たりの電力に関する二酸化炭素排出量の削減	18.15kg/百万円	70期実績に対し、5%削減	① 空調温度適正化・表示 ② 照明・PC電源不要時のOFFの推進 ③ エアコン清掃の実施
③売上高100万円当たりの廃棄物排出量の削減	1.30kg/百万円	70期実績に対し、2%削減	① 分別ルールの徹底 ② 廃棄物置場の整備 ③ 再生利用ルートの確保
④従業員一人当たりの当たりの水資源投入量の削減(m ³)	10.69m ³ /一人	70期実績に対し、現状維持	① 毎月のメータの確認(漏水防止) ② 節水表示(手洗い場・トイレ) ③ 節水コマを付ける等による節水
⑤環境に配慮した商品の取扱いの推進	情報収集と会議を行う	情報収集と会議を行う	① 環境に配慮した商品の情報を集める ② 環境に配慮した商品の知識を高めた上で営業活動を展開する
⑥グリーン購入比率の向上(%)	33.80%	70期実績に対し、4%向上	① 対象品目の調査 ② 購入実績の把握 ③ 従来品との価格比較 ④ 従来品との性能比較 ⑤ 購入品目の選定 ⑥ グリーン購入ルールの徹底

※二酸化炭素排出係数は0.378を使用しました。

5. 環境活動計画の取組みと評価

年間目標の評価

活動計画・達成状況	環境活動計画の取組み結果の評価
1. 走行距離1kmあたりの 二酸化炭素排出量の削減 『71期目標』現状維持～1%削減 『実績』 現状維持 ○ 『72期目標』現状維持～1%削減	9月に営業車の運転手変更があった。その結果を見て運転手によって癖などがあり燃費に大きな影響が出ることが分かった。営業車車番 8174 が9月から新しく納車され配送車車番 2717 は2月から納車され、弊社の配送車としては、初めてのオートマ車なので今後の燃費が気になるところだ。
2. 売上高100万円当たりの 電力に関する二酸化炭素 排出量の削減 『71期目標』70期に対し、1%削減 『実績』 2.32%削減 ○ 『72期目標』71期に対し、1%削減	全国的な節電ムードも手伝い、2月・4月を除くほとんどの月で前年を下回った。特に夏は、グリーンカーテンの実施・冷房温度の適切管理など積極的な節電に取り組み、前年よりはるかに良い結果を残すことが出来た。しかし冬場は決定的な節電策を見出せず、昨年とあまり変わらない結果で終わった。今後は、照明のこまめな消灯など通年的な節電策により力を入れるとともに、暖房便座の蓋締めを啓蒙するなどして、冬場の節電にも精力的に取り組みたい。
3. 売上高100万円当たりの 廃棄物排出量の削減 『71期目標』70期に対し、1%削減 『実績』 3.08%削減 ○ 『72期目標』71期に対し、1%削減	輸入紙のコピー用紙や印刷用紙はコンテナなどで運ばれてくるため、頑丈にビニール包装されてきてしまい、その廃棄物を削減することは難しい。断裁室で出た落としなどをお客様に配りメモ帳やポップ代わりに使ってもらうことで、紙のゴミの量を微力ながら少なくすることに努めて行きたい。
4. 従業員一人当たりの 水資源投入量の削減 『71期目標』現状維持 『実績』 19.56%削減 ◎ 『72期目標』71期に対し、現状維持	一年を通して去年の1人当り使用量を下回ることができた。今年も去年のような漏水の心配もなくかなり良い実績を出すことができた。水道の担当も小まめなメーターのチェックを心がけ漏水の再発防止に努めている。この水準のまま維持できるように頑張っていきたい。
5. 環境に配慮した商品の取扱いの 推進 『71期目標』情報収集と会議を行う 『実績』 情報収集と会議を行う ◎ 『72期目標』情報収集と会議を行う	各市町村の、年間の単価契約ではグリーン購入法対象商品や紙の白色度などの指定が入る。再生紙を使用したコピー用紙や封筒、包装紙もトイレに流すことのできるトイレトーパーなどお客様に情報提供できるように、各メーカーに問い合わせをした。今後も新たな商品を見つけお客様に紹介していけるように努力をして行きたい。
6. グリーン購入比率の向上 『71期目標』69期に対し、1%向上 『実績』 55.02%増加 ◎ 『72期目標』70期に対し、3%向上	今期はグリーン購入の意識がかなり高いいい実績を出すことが出来た。毎月決まったものを買っているわけではないが、購入時には必ずグリーン購入法対象商品があるか確認をしていたことで、今期のようないい結果に結びついた。今期実績を上回るのは大変難しいが今後もこの意識を忘れずにしっかりと取り組んで行きたい。

5. 環境活動計画の取組みと評価

総括:

エコアクション 21も4年目を迎え社員全員が内容をよく理解できるようになってきた。

どうすれば、燃費は向上するのか、廃棄物の削減方法などエコ会議での意見や発言もかなり活発になってきている。うち水での温度変化や事務所の暖房を使用した時の扇風機を活用した場合の室温変化の実験など社員の創意・工夫が多く見られるようになって来た。その結果71期は全ての項目でいい結果を出すことができた。

72期も71期の実績を上回ることができるように日々の努力を忘れないようにしたい。

6. 環境関連法規制の遵守

1. 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守状況
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	遵法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	遵法
労働安全衛生法	遵法
消防法	遵法
群馬県の生活環境を保全する条例	遵法
高崎市公害防止協定	遵法

2. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

2012年7月19日の環境関連法規遵守状況の確認において、環境関連法規への違反はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。